

厚生福祉部 研修・見学会

9月18日(金)22名の参加を得てサービス付き高齢者住宅(サ高住)川崎上作延ココファンを見学してきました。(上作団地前バス停より2~3分)コロナウィルス感染拡大の中、オーナー様のご厚意により施設のオープン前に見学が実現致しました。サ高住は、2011年に国交省・厚生労働省の協同所管により制度化された高齢者住宅の登録制度で面積、サービスの内容など一定の要件があるようです。上作延ココファンを運営するのは、(株)学研ココファンで、現在全国で148棟7400室、川崎・横浜では7か所運営しているそうです。上作延ココファンは3階建てで全48室あります。部屋は1人用(18㎡~28㎡)が中心で38室(浴室付きもあります)その他、夫婦で入居できる2人用などの部屋があります。1階には事務室の他、食堂、厨房、談話室、洗濯室、浴室、介護用の機械浴室などがあり、各階にもラウンジ、浴室、洗濯室などがあります。その他廊下なども車椅子がすれ違えるように広くできてます。

入居の対象者は60歳以上で要介護者でも構わないそうです。サ高住は、老人ホームではなく、高齢者向け賃貸住宅ということです。賃料は1人部屋で月15万円前後のようです。

尚、希望で食事もでき、朝食454円、昼食670円、夕食670円です。また、介護福祉士等が日中は複数人常駐し、日常の相談事も出来るようです。



賛助会費ご協力ありがとうございました。

この度、地域の皆様に賛助会員のご協力をお願い致しましたところ、多くの方が賛助会員に加入して頂き厚く御礼申し上げます。お寄せいただきました賛助会費は社会福祉事業の推進に役立たせて頂きます。



【アマビエ】で新型コロナウイルス終息祈願!

アマビエは、江戸時代に出現したと言われる妖怪で、「アマビエの写し絵を人々に見せることで、豊作をもたらし疫病をしずめる」とされており、一日でも早いコロナ禍の終息を祈念致します。



「虐待かも・・・」と思ったら

◆子どもSOS

- ・全国共通ダイヤル(24時間)⇒「189」
- ・川崎市児童虐待防止センター⇒0120-874-124

◆高齢者SOS

- ・高齢者虐待相談窓口
(高津区役所 高齢者支援係)⇒044-861-3255
又は、最寄りの地域包括支援センターへご相談下さい。→



地域包括支援センター

介護、福祉、健康、医療など様々な相談の窓口です。

- 溝口地域包括支援センター(820-1133)
住所:高津区溝口1-6-10 3階
- 樹の丘地域包括支援センター(820-8401)
住所:高津区久地4-19-1
- リ・ケア地域包括支援センター(865-6238)
住所:高津区向ヶ丘130-9

【編集後記】 季節の行事が次々中止になりました。このような状況の中でも皆様にお知らせしたい記事が満載できた事をうれしく思います。私たちは、コロナ禍の中で、マスク・消毒除菌等をしながら、新しい日常生活を作り上げています。三密にならないように「ふれあい会食会」、「ふれあい歌声喫茶」等も、再活動に向け動き出しています。人と人がふれあい、語り合う時間がどんなに大切なものかと、改めて認識しました。(企画部・茅根)

ふれあい 第57号

高津第二地区社会福祉協議会

令和2年12月1日発行

発行人:高津第二地区社会福祉協議会

会長:富田 誠

所在地:高津区溝口1-6-10 てくのかわさき3階

連絡先:TEL.044-812-5500 FAX.044-812-3549

地域の皆様と共に、安全安心のまちづくりを

高津区保護司会 会長 越水 詞郎



私達保護司は罪を犯した人々の社会復帰を支援すること、そして犯罪予防を主として活動しております。

日本の犯罪認知件数は2002年の約280万件をピークに急速に減少し、2019年には80万件を下回るまでになりました。これは地域の皆様の犯罪予防意識の向上、夜間パトロール等の活動が寄与したものと思われまます。もう一つの大きな要因は監視カメラの普及です。自転車・バイク等の窃盗件数が大幅に減ってきております。

しかし、これで安心できるわけではありません。もっともっと犯罪件数を減らし、安全安心の国を目指したいものです。

その一つとして再犯の防止が注目されています。犯罪件数激減の反面、再犯はあまり減少しておらず、現在犯罪件数の約50%を占めるようになってきました。この再犯を防止することによって、更なる犯罪件数減少を目指そうというものです。

2016年12月に再犯防止推進法が制定され、これを受けて各自治体は、それぞれの地域の状況に応じた再犯防止推進計画を策定することになりました。

川崎市でも、2020年2月に各分野の代表の方々のご協力を得て再犯防止推進計画が策定されました。インターネットで検索できますので少し長文になりますがご覧になって頂ければと思います。冒頭に福田川崎市長が次のように述べています。「誰もが罪を犯すことがなく、加害者も被害者も存在しない、誰もが安心して暮らし続ける地域社会の実現をめざして」

社会福祉協議会は様々な分野の代表者、ボランティアの方たちが集まり、地域の福祉活動を推進されています。私たちも皆様のご協力を頂きながら、「安全安心のまちづくり」に少しでもお手伝いが出来ればと思っております。

《高津第二地区社会福祉協議会 行事のお知らせ》

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、企画していたイベントの多くが中止となってしまいました。今年度末までに実施(再開)を予定している事業・イベントは下記の通りです。

【ふれあい会食会】・・・各会場(高津・上作延・梶ヶ谷いこいの家)にて少人数制で実施
※開催日についてはお問い合わせください。

【上作延ミニデイ】・・・毎月第三木曜日実施中

【ふれあい歌声喫茶】・・・2月9日(火)及び3月23日(火) ※いずれも午後開催予定

地域の中で 「あかしあ園」

平成5年、上作延（上作延農住公園そば）に開所して地域の皆様に仲間入りをしました「あかしあ園」は知的障害の方の施設です。18歳以上の成人の方たちが仕事や、様々な活動をしています。今年は世界中の感染症流行の為、地域に出かけて行う活動は自粛をしています。その為敷地内での活動が中心ですが、改装して広く明るくなった館内で、利用者の皆さんとゲームを作って大会を開き楽しんでいます。中でも魚釣り、西瓜割、輪投げ、カラオケ、ボーリングは最高でした。

他にもボランティアさんの協力で行うヨガ活動や、園芸活動での野菜作りは汗と笑顔の輝きがとっても素敵で味も大満足でした。

地域の皆様にはいつも感謝しております。今は出かけていく機会が減ってはいますが、心温まることが多い街、笑顔が伝わっていく素敵な街であかしあ園をこれからもよろしくお願いたします。又、皆様もどうぞ健康にご留意いただければと思います。



地域の中で 「わかたけ作業所」

わかたけ作業所は、地域の方々に支えられ、今年で40周年を迎えます。

作業所には、知的障害の利用者さんが57名在席し、平日の日中の時間にいろいろな作業を中心に活動しています。

チョークやラインパウダーの梱包、スイッチの組み立て、タオル等の畳み、刺繍入りのハンカチ、タオル等の製作と販売等があります。特に刺繍入りのハンカチはとても人気があり、ご希望のデザインの絵や文字をお入れすることができます。プレゼント等にも最適です。

外出の活動として、バス外出や少人数での一日外出、そして地域の方にもいらしていただく「わかたけ祭り」等も例年行ってきましたが、今年は中止となりました。

昨年は平瀬川の氾濫により、作業所は床上浸水となりました。その際に近隣の方々から温かいお言葉や、様々なご協力をいただきました。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。



「笑顔をつなげる」

上作延小学校 校長 小林 智子



上作延小学校は、今年度開校52年目を迎えます。

子どもたち（児童会）が中心になって考えたテーマ「笑顔つなげる 明るい上小」を合言葉に教職員、子ども、家庭、地域と手を取り合いながら、学校教育目標実現に向けて全力で取り組んでいます。

今年度はコロナの影響もあり、半分諦めかけていた学校行事ですが、新型コロナウイルス感染症への対応が少しずつ確立されてきたこともあり、学校全体で取り組む活動も工夫次第で可能となってきました。ご家庭や地域の皆様のご理解とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

11月2日には「上作オリンピック2020」と称し、例年の運動会とは異なりペア学年の2学年ずつの運動会行事を開催しました。今までと違うことで「児童たちはどうなるのか」という教職員の心配をはねのけるかのように、自主的に活動する姿や、新しい学年交流の形を楽しむ姿など、児童が準備や練習の段階から目を輝かせて取り組んでいました。自分たちで楽しいことをつくりあげていくことができるのが上作延小の児童の良さだと改めて感じました。

また各学年の地域とのかかわりを生かした体験活動や講師の方を招いての学習もスタートしました。

これからも上作延小の児童一人一人が、このまちの皆さんに感謝し、「自分」「家族」「友達」「地域」と笑顔をつないで、このまちの未来をつくりあげていくことができるような人に育ってほしいと思います。その実現に向けて教職員も尽力していきますので、これからもよろしくお願いたします。

高津地区防災訓練

11月7日（土）高津地区防災訓練が南原小学校校庭にて新型コロナウイルスの感染防止のために規模を縮小して行われました。瀧村隊長をはじめ危機管理の役員を中心に、



積み土のう工法の訓練、上作延班消防団による放水訓練、避難所資材の展示、簡易トイレの組み立て訓練、避難所コロナ対応訓練など、規模を縮小して実施したことで、訓練の内容がよく理解されて良かったと思います。



坂戸日商自治会 ～福祉部の取り組み

坂戸日商自治会では、2011年に自治会組織に「福祉部」を新設し、ご高齢の方やひとり暮らしの方などの、茶話会や交流会などの活動を開始しました。

2011年といえば東日本大震災のあった年です。被災地の避難所の様子や仮設住宅での暮らしを見ると、地域コミュニティがいかに大事なものが感じられました。

孤独や孤立をなくし、住民同士が見知っていること、お互いを気に掛けるということを大事にしようと、ふれあい交流会の内容も充実していきました。お茶会・昼食会だけでなく、健康体操や合唱など、福祉部のメンバーや住民の方がリーダーとなり、毎回、楽しい時間を過ごしています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、懐かしい歌の合唱ができないのが残念ですが、検温や消毒、換気をしっかり行い、席の間隔も広めにとって、食事会を行っています。9月の会には18名が参加、11月には第37回目を開催いたします。

